

○令和3年度 教育事業

「ボランティアスキルアップセミナー」(R3.11.6(土), R4.1.15(土)～16日(日))

令和3年度 国立大雪青少年交流の家教育事業 「ボランティアスキルアップセミナー」開催要項	
1 趣 旨	事業の企画・立案、運営・指導の体験を通して、法人ボランティアとしてのスキルアップを図り、社会参画への意欲を高める。
2 主 催	独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大雪青少年交流の家
3 後 援	北海道教育委員会・北海道小学校長会・北海道中学校長会・北海道高等学校長協会 美瑛町・美瑛町教育委員会・上川管内教育委員会連合会
4 日 時	①令和3年11月6日(土):企画・立案編 主 要 内 容 ○事業の企画・立案のためのスキルアップ講座等 ○自主企画事業(たびうさぎファミリー)の企画・立案 ※企画メンバーは、その後リモート等を活用して事業をつくります ②令和4年1月15日(土)～16日(日):実践編 ・自主企画事業(たびうさぎファミリー)の運営
5 会 場	国立大雪青少年交流の家
6 対 象	交流の家に登録している法人ボランティア
7 定 員	企画メンバー 5名程度(企画メンバーも当日運営に入ります。) 当日運営メンバー 5名程度
8 その他	「企画メンバー」、「当日運営メンバー」の募集は、それぞれ行います。

◆目的

事業の企画・立案、運営・指導の体験を通して、法人ボランティアとしてのスキルアップを図り、社会参画への意欲を高める。

◆参加実績(定員5名程度)

参加7名

- ・ 社会人 2名
- ・ 大学生 4名
- ・ 高校生 1名

◆プログラム

① 企画立案についての講義

講師：藤井 玄氏(国立大雪青少年交流の家所長)

講義を通して、事業の企画立案のやり方や大切にしなければいけないことについて、学びを深めた。

② 企画・立案

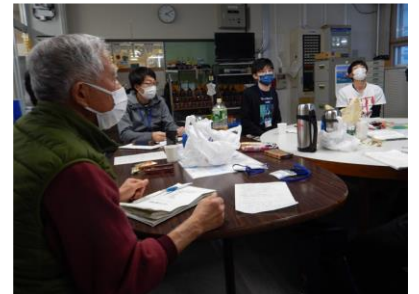
講義を基にどのようなねらいで、どんな内容の企画を実施するか話し合った。

③ 企画準備・会場準備

企画メンバーが集まり、事業の流れや役割分担を確認しながら必要物品を準備し、机運びやソリ滑りコースの圧雪などの会場準備を行った

④ 自主企画事業の運営

企画した事業をボランティアが中心となり運営を行った。前半はボランティアが作り方やポイントを説明し手からソリづくりとランタンづくりを行い、後半は屋外で段ボールを組み合わせた秘密基地づくりと、午前中に作ったソリを使ったソリ滑り大会を行った。



◆事業運営・企画のポイント

- コロナ禍もあり、全員で施設に集まることはほとんどできなかったが、zoom等のオンラインツールを用いて定期的に打合せを行い、企画事業に取り組めるようにした。
- 企画立案のやり方や考えなければいけないことを学び、自分たちの企画のねらいを明確にしながら考えることで、企画立案についてより深く考えられるようにした。

◆参加者の声

- これから様々な社会教育の事業の企画を考えていきたいと思っていたので、目的やなぜやるのかの根拠を大切にし、自分にも参加者にも学びのある事業を展開していきたいと思います。
- 他で企画を考える際や学年の壁を越えた様々な人と協力する際に生かしていきたいです。
- 参加者とのコミュニケーションを前回より取れていたと思います。自分から話しかけていくのが苦手なのですが、今回は積極的に話せました。

◆事業の成果と課題

- ① 重視するポイントを意識して企画を考えることができたが、自分の意見を言うことができないメンバーがいたり、話合いが止まったりする姿が見られたので、職員が進行役に入ったり、話を適宜整理したりするような関わりをもつようにすることが必要だった。
- ② 「何を」「いつまでに」「どのように」進めていけばいいのかの全体の見通しを持ちながら進めることができなかったため、年度当初にどのような年度計画で進めていくのかを確認する機会をもつ。
- ③ 企画から実施までに時間があき、モチベーションの維持が出来ていなかったことがあったため、企画から運営までの日程の持ち方を工夫する。